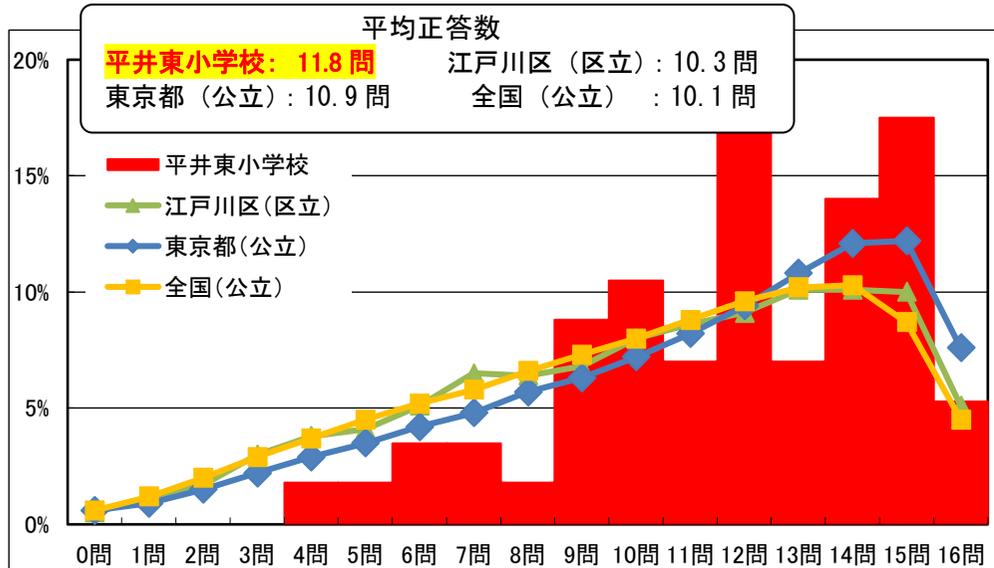


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 平井東小学校

## 正答数分布



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

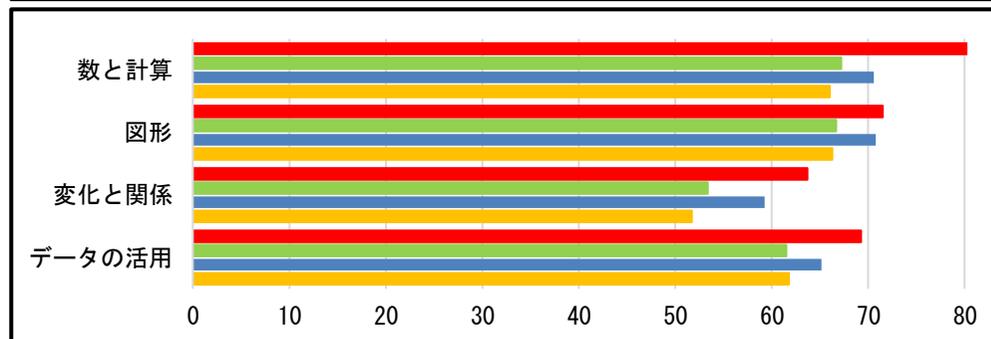
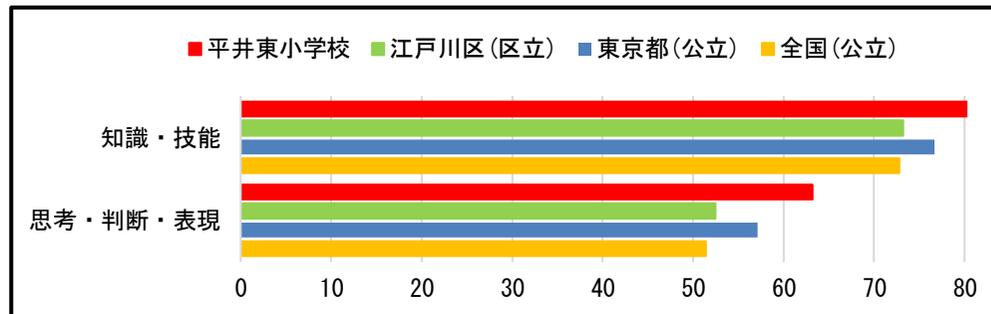
上位 ← → 下位

算数	四分位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
平井東小学校	36.8	24.5	28.1	10.6
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



## 【分析結果と授業改善に向けて】

本校の平均正答率は、11.8問であり、東京都の平均と比較すると1.1問多く解答している。四分位における割合も、A層が一番高く、D層が低くなっている。

領域別の結果より「図形」の数値が他領域と比べて東京都の平均との差が小さい。授業改善としては、図形の学習の中で、三角形や四角形などの簡単な性質を理解させ、様々な図形の概念を論理的に考えさせる学習過程にしていく。また、朝学習の時間を活用し、ミライシードのドリルパークなどで、個人それぞれの課題に取り組めるようにする。

## 【平均正答率の差】

平井東小学校	74%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	6ポイント